

＜学友会活動（運動部活動）の実施に際しての留意事項＞

学生部

運動部活動の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するために、以下の4つのリスク低減に留意してください。また、運動部活動は「強制参加」ではないので、家族とも相談した上で、個人が自覚と責任を持って参加するようにしてください。

（1）移動リスクの低減

- ・ 公共交通機関を利用する際はマスクを着用、つり革や手すりなど接触感染の可能性が高いところを触らない。
- ・ 来校時は、施設入り口に設置してある消毒液を使って手指消毒を行う。
- ・ 練習時間の設定には、移動が朝晩のラッシュ時間帯に重ならないよう配慮する。
- ・ 帰宅時には必ず手洗い・うがいを行う。

（2）練習リスクの低減

- ・ 各競技団体や関係機関が作成している感染対策に関するガイドライン等を遵守する。
- ・ 各自の体調管理の徹底、PCR検査の利用、参加人数・練習時間を削減する、オンラインミーティングを利用するなど感染リスクの低減に努め、練習終了後は速やかに帰宅する。
- ・ 体調不良（発熱、咳、味覚や嗅覚異常）がある場合には部長へ必ず報告し、練習参加せず自宅待機する。
- ・ 更衣室での3密を避ける。
- ・ 各種目の特性に応じて3密を避ける工夫を行う。
- ・ 屋内練習施設は換気を十分に行う。
- ・ 水分補給は、ボトルやカップを共有せず、マイボトルやマイカップで行う。
- ・ 午前と午後の2部練習を実施する場合には、昼食時の3密を回避する。

（3）試合リスクの低減

- ・ 練習試合および公式試合への参加については、学生部へ諸願Aを提出し、常任委員会で審議し感染症対策委員会の許可を得た上で実施する。
- ・ 諸願には、試合主催者/使用施設（公共施設・他大学施設）/試合を行う先方の大学の感染症対策ガイドライン等を添付する。練習試合の場合には、受け入れ相手の承諾書を添付する。

（4）生活リスクの低減

- ・ 検温（起床時および練習前）・健康観察票の記入を行い、毎日部長へ必ず体調報告する。
- ・ 同居の家族もしくは同居の家族の職場等においてPCR検査陽性が発生した場合には必ず部長へ報告する。
- ・ 感染のリスクが高い場所でのアルバイトは避ける。アルバイトを行う場合は、アルバイト先の感染症予防対策に従う。